

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	公民館講座事業			基本目標	町民ニーズに応じた学習機会の充実			
担当課(局)・係	社会教育課	公民館	記入者	中村昭子	評価者	三嶋俊宏	開始年度	S59 年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	地域住民との交流を充実するため、講座・教室を開講										
	意図・目的	文化活動の場を積極的に提供し、住民との連係・交流を充実させる										
事業の内容	地域における高齢者・一般及び児童生徒を対象 歴史講座・園芸教室、年間10回開講の子ども生け花・茶道教室、週2回の子ども囲碁教室、夏休み企画教室として、子ども絵画・書道・フラワー教室											
23年度決算額	114	千円	24年度予算額	2,031	千円	事業従事者数	H23 0.50	人	H24 0.50	人		
主な支出項目	報償費	95	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	23年度人件費	3,569 千円			
	費用弁償	2	千円		県支出金		千円	24年度人件費	3,572 千円			
	旅費	17	千円		地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)		100.0	%	
			千円		一般財源	2,031	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
			千円				千円					
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		-						
	補助交付団体			-		補助金要綱		-				
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	-	千円	終期	-	年度
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等							
		補助の割合	-	%								
繰越額		-	千円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 受講者数	公民館利用者の増加で、多くの地域住民が文化活動に参加することができる。
	2 講座数	受講者のニーズにあった、多種多様な講座を開講する。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 広報活動数	公民館講座・教室生募集をポスター・チラシ・お知らせかなべ等で配布
	2 自主講座数	学校週5日制の土曜日を利用し、小・中学生を対象に子ども育成の活動の場
	3	

◎達成状況

指標名	単位	22年度	23年度	24年度
		目標値	17,000	17,000
受講者数	実績値	12,752	18,148	
	達成率	75.0%	106.8%	
	目標値	51	50	48
講座数	実績値	50	49	
	達成率	98.0%	98.0%	
	目標値			
実績値	実績値			
	達成率			
	目標値			
広報活動数	目標値	5	5	5
	実績値	6	7	
	達成率	120.0%	140.0%	
自主講座数	目標値	12	11	12
	実績値	13	12	
	達成率	108.3%	109.1%	
実績値	実績値			
	達成率			
	目標値			

事務事業名	公民館講座事業	担当課(局)	社会教育課
-------	---------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数 自己評価
妥当性 (必要性)	・長年継続実施されているものも多く、受講生が固定されている講座も見受けられるが、他の市町村と比べ多種多様な講座が開設されていて人気も高く、廃止した場合、影響は大きいと判断される。	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性	・年に1回利用者の発表の場もあり、参加・披露を楽しみ受講され、交流の場となっている。	◎目標に対して成果は得られているか	2
		◎すでに目的は達成されていないか	1
効率性	毎年特色ある講座を実施し、好評である。経費や時間は現行どおり。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2
		◎費用対効果が十分に認められるか	1
協働性		◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	
合計(最高18点)			12

※町補助をしている場合のみ記入

公益平性 (公益性)		◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	
		◎町民の理解が得られる事業であるか	
		合計(最高4点)	
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見  ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	地域住民が生涯に渡って学べる学習機会の提供は公立公民館の重要な事業である。また、楽しみにしている高齢者や児童もいることから、多種多様な講座や内容の充実を図りながら進めていくべきである。ただし、現在、多くの講座の実施により空き教室がない状態であり、1講座の回数制限等を検討する必要がある。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
				維持			○	
縮小 廃止	縮小							
	廃止							
コスト								

◎事務事業評価委員の意見等

・町民のための必要な講座と考える。	◎今後の方向性	
	事務事業評価委員会	
	判定	維持
	外部評価委員会	
	判定	